

4 月定例教育委員会会議録

開催年月日	平成29年4月27日(木)																								
開催日時	午後3時00分																								
開催場所	市役所別館 3階会議室																								
出席委員	<table border="0"> <tr> <td>教育長</td> <td>三笥 眞治郎</td> <td>職務代理者</td> <td>諫本 憲司</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>永山 真江</td> <td>委員</td> <td>田島 みき</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>岡部 博昭</td> <td>委員</td> <td>佐藤 るり</td> </tr> </table>	教育長	三笥 眞治郎	職務代理者	諫本 憲司	委員	永山 真江	委員	田島 みき	委員	岡部 博昭	委員	佐藤 るり												
教育長	三笥 眞治郎	職務代理者	諫本 憲司																						
委員	永山 真江	委員	田島 みき																						
委員	岡部 博昭	委員	佐藤 るり																						
出席参与	<table border="0"> <tr> <td>教育次長</td> <td>鈴木 俊行</td> <td>教育総務課長</td> <td>江田 正彦</td> </tr> <tr> <td>学校教育課長</td> <td>仲 はるみ</td> <td>社会教育課長</td> <td>池田 寿生</td> </tr> <tr> <td>文化財保護課長</td> <td>梶原 康弘</td> <td>兼 博物館長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>咸宜園教育研究センター長</td> <td>竹尾 秀広</td> <td>淡窓図書館長</td> <td>原田 豊司</td> </tr> <tr> <td>兼 世界遺産推進室長</td> <td></td> <td>体育保健課長</td> <td>河津成一郎</td> </tr> <tr> <td>学校給食センター長</td> <td>永瀬 常富</td> <td>人権・同和教育室長</td> <td>伊藤 伸也</td> </tr> </table>	教育次長	鈴木 俊行	教育総務課長	江田 正彦	学校教育課長	仲 はるみ	社会教育課長	池田 寿生	文化財保護課長	梶原 康弘	兼 博物館長		咸宜園教育研究センター長	竹尾 秀広	淡窓図書館長	原田 豊司	兼 世界遺産推進室長		体育保健課長	河津成一郎	学校給食センター長	永瀬 常富	人権・同和教育室長	伊藤 伸也
教育次長	鈴木 俊行	教育総務課長	江田 正彦																						
学校教育課長	仲 はるみ	社会教育課長	池田 寿生																						
文化財保護課長	梶原 康弘	兼 博物館長																							
咸宜園教育研究センター長	竹尾 秀広	淡窓図書館長	原田 豊司																						
兼 世界遺産推進室長		体育保健課長	河津成一郎																						
学校給食センター長	永瀬 常富	人権・同和教育室長	伊藤 伸也																						
書記	教育総務課 総務企画係 主幹(総括) 衣笠 雄司																								
附議議案	<p>議案第35号 日田市奨学資金運営委員会委員の委嘱について</p> <p>議案第36号 日田市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について</p> <p>議案第37号 日田市立小中学校評議員の委嘱について</p> <p>報告第5号 平成29年3月期寄附採納について</p> <p>報告第6号 旧日田市立花月小学校の校舎の取り壊しについて</p> <p>報告第7号 平成28年度英語検定の実施結果について</p>																								

教 育 長	<p>皆さん、こんにちは。ただいまから4月定例教育委員会を開催いたします。</p> <p>まず、前回の議事録の確認でございますが、3月定例教育委員会の議事録について変更はございませんでしょうか。（「ありません」と呼ぶ者あり）</p> <p>御了解いただきましたら、本会議終了後に御署名をお願いいたします。</p> <p>続きまして、教育長の報告でございますが、お手元に配付しております資料により、報告とさせていただきます。</p> <p>それでは、早速議事に入りたいと思います。</p> <p>まず、議案第35号について説明をお願いします。</p>
教 育 次 長	<p>議案第35号、日田市奨学資金運営委員会委員の委嘱についてでございます。</p> <p>議案集の1ページをお願いいたします。</p> <p>日田市奨学資金運営委員の任期満了に伴いまして、日田市奨学資金に関する条例第5条の規定により、新委員を任命するものでございます。</p> <p>教育総務課から御説明を申し上げます。</p>
教育総務課長	<p>資料につきましては、議案集1ページ目をお願いいたします。日田市奨学資金運営委員会委員の委嘱についてでございます。</p> <p>提案理由としましては、日田市奨学資金運営委員の任期満了に伴い、日田市奨学資金に関する条例第5条の規定に基づき新委員を任命するものという内容でございます。</p> <p>今回も引き続きまして、三笥教育長、諫本教育長職務代理、永山委員、田島委員、岡部委員、佐藤委員、木下委員と大塚副市長に再任をお願いしまして、新たに、市内高等学校長から園田大分県立日田高等学校校長、市立中学校長から梅田日田市立東溪中学校校長に就任をいただきたいと考えております。</p> <p>また、市議会議長と市議会教育福祉委員会の代表につきましては、現在、市議会に選任をお願いしておりますので、決定いたしましたら、追加で議案を提出させていただきたいと思っております。</p> <p>それから、日田市奨学金に関する条例、施行規則第4条の規定によりまして、任期は29年4月1日から31年の3月31日の2年間になっております。</p> <p>以上、よろしくをお願いいたします。</p>
教 育 長	<p>議案第35号について、ただいま説明がありました、何か御質</p>

<p>教 育 次 長</p>	<p>問等ございませんか。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>それでは、議案第35号については、原案のとおり可決してもよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>議案第35号は、原案のとおり可決いたします。</p> <p>続きまして、議案第36号について説明をお願いします。</p> <p>議案第36号、日田市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正についてでございます。</p> <p>日田市では、昨年10月からスクールソーシャルワーカーを配置いたしました。大分県の報酬額改定がありましたので、所要の措置を講ずるものでございます。学校教育課から説明を申し上げます。</p>
<p>学 校 教 育 課 長</p>	<p>学校教育課でございます。お手元の3ページの資料をご覧ください。</p> <p>改正内容につきましては、表の右側が改正前、左側が改正後となっております。</p> <p>報酬の金額につきましては、日額での報酬になっておりますので、1日6時間の勤務時間で日額が1万5,000円ということになります。</p> <p>これは、これまでは県のスクールソーシャルワーカー活用事業の中に定められております交付要綱の中で、1時間当たり1,500円が上限と定められており、市教委といたしましてもその単価で支給をしてまいりましたところですが、このほど、県が交付要綱の見直しを行い、3月議会の承認を得てスクールソーシャルワーカーの報酬を、平成29年4月から1時間当たり2,500円に改正したものでございます。</p> <p>県の事業を活用している市教委といたしましても同様の金額に改正するため、次の議案の審議をお願いいたします。</p> <p>4ページから6ページに、県のスクールソーシャルワーカー活用事業費補助金交付要綱を添付しております。</p> <p>6ページの表をご覧ください。先ほど、御説明いたしました改正後の報酬の1時間あたり2,500円の金額が記載されております。</p> <p>7ページに、市の雇用状況と九州各県の1時間当たりの単価を記載しております。</p> <p>雇用につきましては、県のスクールソーシャルワーカー活用事業に基づくもので、市の非常勤特別職となります。配置先は市の教育センターで、平成29年4月から1名増員して2名体制となっております。勤務は昨年度と同じく1日6時間で週2日でございます。</p>

<p>教 育 長</p>	<p>報酬につきましては、改正後は1時間当たり2,500円となります。報酬と旅費等は補助対象経費となりますので、5分の3が県から補助されるということになります。</p> <p>また、その下です。九州各県の1時間当たりの単価につきましては、福岡県が最も高く1時間当たり5,000円、沖縄県が最も低く1,520円で、平均額は2,816円となっております。</p> <p>教育委員会と議会での御承認がいただければ、平成29年4月1日からの適用となりますので、増額改正費につきましては、4月に遡及しての支給となります。</p> <p>以上の内容で御審議をお願いいたします。</p> <p>それでは、ただいまの説明につきまして御質問等ございますでしょうか。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>それでは議案第36号については、原案のとおり可決してもよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>議案第36号は、原案のとおり可決いたします。</p> <p>続きまして、議案第37号について説明をお願いします。</p>
<p>教 育 次 長</p>	<p>議案第37号でございますが、議案集の8ページをお願いいたします。</p> <p>日田市立小中学校評議員の委嘱についてでございます。</p> <p>本案は、日田市立小中学校管理規則第33条の規定に基づきまして、本年度の学校評議員を委嘱するものでございます。学校教育課から説明を申し上げます。</p>
<p>学 校 教 育 課 長</p>	<p>議案集は8ページから19ページとなりますが、初めに19ページをお願いいたします。</p> <p>議案第37号は、19ページ上段にございます日田市立小中学校管理規則第33条の規定及び、その下にございます日田市立小中学校評議員設置要綱に基づいて、各小中学校長から推薦のあった学校評議員の委嘱について議決をお願いするものでございます。</p> <p>学校評議員は、学校長が学校運営に関して必要と認めるところについて意見を求め、学校運営の参考とすることを目的としております。そのため、できる限り幅広い分野から学校長が選考して推薦するものとなっています。</p> <p>8ページから18ページまでが、各学校長から推薦のあった評議員名簿でございます。推薦区分は育友会代表、自治会代表、主任児童委員及び民生委員、学校推薦の4区分がありますが、各学校5名構成ですので、小中学校合わせて150名の推薦となっております。</p>

	<p>す。</p> <p>150名のうち新任の方は49名で全体の約32.7%、昨年度と同じ数字でありました。女性の方は58名で、昨年度より1名増えて、全体の約39%でございました。</p> <p>なお、各推薦区分からの推薦の状況でございますが、今年度は全ての学校で専門区分から推薦されている状況でございます。</p> <p>以上でございます。</p>
教 育 長	<p>ただいま説明がございました。学校評議員の委嘱についてでございますが、何か御質問等はございませんか。</p>
岡 部 委 員	<p>学校評議員の会議は、年に何回くらい開催されていますか。</p>
学校教育課長	<p>学校によって回数の違いはあるかと思いますが、学校長の求めに応じるということになっており、最低でも3回は行っております。</p>
岡 部 委 員	<p>この報酬は。</p>
学校教育課長	<p>日田市の場合は、報酬はございません。市町村によっては、お支払いしているところもあります。</p>
教 育 長	<p>ほかにもございますか。</p>
田 島 委 員	<p>日隈小学校ですが、御住所が同じ方が2人いらっしゃるの、この方たちは御夫婦ですか。</p>
学校教育課長	<p>御夫妻でございます。</p> <p>それぞれ、推薦区分が違うということでの選任となっております。</p>
教 育 長	<p>現在の学校評議員とコミュニティ・スクールとして設置する学校運営協議会との違いについて説明を。</p>
学校教育課長	<p>コミュニティ・スクールについては、日田市では昨年度から準備段階に入っております。昨年度5校、今年度5校が準備段階ということで、2年間の準備段階を経て学校運営協議会を設置したコミュニティ・スクールとして、来年の4月から、その最初の5校がスタートをします。</p> <p>そうなりますと、現在、学校評議員を置いている学校が、学校運営協議会も設置するということになりますので、そのことについて</p>

	<p>少し御説明させていただきます。</p> <p>まず、学校評議員につきましては、学校に置くことができるということで、必ずしも置かなくてはいけないということではございません。それに対しまして、学校運営協議会は、平成29年4月の法改正によりまして、置くことができるから、学校運営協議会を置くように努めなければならないというように努力義務化されました。</p> <p>文科省は、このいずれを置くかということについては、学校を設置する教育委員会が地域の実情などに応じて選択することになると示していますことから、学校運営協議会の役員が学校評議員の役割を果たすならば、コミュニティ・スクールにおいては学校評議員は発展的に解消してもよいのではないかというように示しているところでございます。</p> <p>学校評議員の方を、そのまま学校運営協議会の委員として任命することによって、より当事者意識を持って学校運営に対する意見を述べていただくことができるようになりますが、その場合は、規則の改正というものが必要になってきます。</p> <p>先ほど、お示ししました学校評議員の規則等について、学校管理規則の改正、それから学校運営協議会規則というものを新たに制定する必要が、今後生じてくるということになります。市教委としても、来年度の本格実施に向けて改正を行う予定としておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、学校運営協議会の設置に伴って、学校評議員制度を廃止している学校の割合は、全国で64%ということになっております。</p> <p>以上でございます。</p>
教 育 長	<p>規則の改正等は、また今年度中に必要になるかどうかということでございます。</p>
諫 本 教 育 長 職 務 代 理 者	<p>学校運営協議会となった場合の人数はどうなりますか。</p>
学 校 教 育 課 長	<p>県下の状況を見ますと、大体15名くらいのところが多いようでございます。現在、準備段階にある学校の研究推進委員会につきましても15名程度で、準備段階の研究を行っていただいているところですので、その程度と考えて、準備に入っているところでございます。</p>
教 育 長	<p>よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）この件については、教育委員会でも意見を伺いながら、進めていくようになるかと思ひ</p>

<p>書 記</p> <p>教 育 長</p>	<p>ます。</p> <p>ほかにございますか。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>それでは、議案第37号について、原案のとおり可決してもよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>議案第37号は、原案のとおり可決いたします。</p> <p>続きまして、報告事項について説明をお願いいたします。</p> <p>それでは、議案集の20ページをお願いいたします。</p> <p>報告第5号、平成29年3月期分の寄附採納について御報告を申し上げます。</p> <p>まず、地区寄附の採納でございますが、今回4件となっております。1つ目が下飛田小児科様から咸宜小学校へ朝日写真ニュース1年分7万円相当を御寄附いただいております。</p> <p>次に、玖珠町の後藤様から東有田中学校へ液晶テレビ10万7,784円相当を御寄附いただいております。</p> <p>次に、隈2丁目の南木様から日隈小学校へ、児童用図書7万7,646円相当を御寄附いただいております。</p> <p>次に、高塚福俵保存会様から、東溪小学校へ、児童用図書5万円相当を御寄附いただいております。</p> <p>続きまして、一般寄附の採納でございますが、今回3件となっております。まず1件目でございますが、一般財団法人井上家文化教育振興会様から教職員研修費助成金といたしまして、50万円を御寄附いただいております。この御寄附につきましては、昭和39年から継続して御寄附いただいております。</p> <p>次に、公益財団法人ベルマーク教育助成団体様から五馬中学校へ、液晶テレビとデジタルビデオカメラ18万1,800円相当を御寄附いただいております。この御寄附につきましては、昨年発生いたしました熊本地震で被害を受けました熊本県、大分県の小中学校、90校に対しまして、教育備品や教材の贈呈が行われたものでございます。</p> <p>次に、咸宜園開塾200年と日本遺産認定を祝しまして、福岡市の秋武様から8,000円お御寄附いただいております。</p> <p>3月分につきましては、以上7件で、金額が50万8,000円と物品相当額48万7,230円となっております。合わせまして99万5,230円相当の御寄附をいただいております。</p> <p>報告第5号につきましては以上でございます。</p> <p>報告第5号について説明が終わりました。何か御質問等ございま</p>
-------------------------	---

教育総務課長	<p>せんか。よろしいですか。（「はい、ありません」と呼ぶ者あり） それでは、続きまして、報告第6号について説明をお願いします。 報告第6号、旧日田市立花月小学校の校舎の取り壊しについてご報告いたします。資料につきましては、議案集の21ページでございます。 所在につきましては、日田市市ノ瀬町1427番地3、施設の概要としましては、22ページを参照いただきたいと思います。 ①の管理教室棟、昭和37年3月築で木造2階建て672平米、それから、②が屋内運動場、昭和63年3月築で鉄骨造1階建ての600平米でございます。 取り壊し施設につきましては、①の管理教室棟のみで、オレンジの部分が該当になります。②の屋内運動場は、今後利用するという予定でございます。 取り壊しの理由としましては、花月小学校は児童数の減少に伴う教育環境の整備を目的としまして、平成19年4月に三和小学校と統合したことにより廃校となりました。廃校を受け、地域住民と市で跡地利活用を検討した結果、日田市コミュニティセンターに転用することが決定しましたことから、管理教室棟を取り壊し、グラウンドとして整備するものでございます。 取り壊しの年月につきましては、平成29年5月からを予定しているところでございます。 以上でございます。</p>
教 育 長	<p>それでは、報告第6号について説明がございましたが、御質問等ございますでしょうか。</p>
永 山 委 員	<p>管理教室棟の取り壊しに伴って、この校舎で使っていた備品がたくさん、置いてあったと思うのですが、それは、一緒に全て廃棄処分ということになるのですか。</p>
教 育 長	<p>備品の扱いですが、わかりますか、どうですか。</p>
永 山 委 員	<p>生徒さんが使っていた机や椅子を譲ってほしいという声が、学校の統廃合のたびにありました。また今回花月小でも、そういう御要望をいただいたことがあるのですが、たしか今まではお譲りしたという経緯がなかったと記憶しています。今回もやはり廃棄となるのでしょうか。</p>

<p>書 記</p>	<p>基本的には、廃校となりました学校の机や椅子は、統合します学校やほかの学校に移管しております。その他の備品等につきましては、所有者がいらっしゃるものもございましたので、お引き取りいただいたり、ほかの学校で必要となるものは移管しまして、その後、地元の方に見ていただいたと聞いております。</p> <p>残ったものにつきましては、処分という形になるかと思えます。</p>
<p>永 山 委 員</p>	<p>地元の方には見ていただけたんですね。</p>
<p>書 記</p>	<p>早くから地元の方から、見せてほしいというお話がありましたので、移管等の整理後に見ていただいております。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>ほかにございますか。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>それでは、続きまして、報告第7号について説明をお願いします。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>報告第7号、平成28年度英語検定の実施結果についてでございます。</p> <p>お手元の議案集23ページから25ページとなります。</p> <p>平成27年度より始まりました確かな学力育成支援事業のうちのチャレンジ英語、英語検定が1月20日に実施されました。その結果について御報告をいたします。</p> <p>まず、本事業はチャレンジ意欲の高揚と学習意欲の向上を目的としまして、英検の受検料の助成を行うものでございます。今回、2回目となります。</p> <p>中学校1年生は原則5級を全員受検し、受検料の全額助成、中学2年生は希望受検として、受検料の半額助成を行うものでございます。</p> <p>なお、受験級は原則にしておりますので、1年生でも5級以外の級を受検することは可能となっております。</p> <p>まず23ページは、学校別の申込み状況を受検級別にまとめたものです。</p> <p>1年生の欄をご覧ください。全員受検となっている1年生は、申込み率が99.3%となっております。昨年度とほぼ同じでした。受検級は1年生終了段階の5級受検が最も多く488名で、1年生全体の84.4%となっております。中には2級や準2級を受検する生徒もいました。</p> <p>また、半額助成をいたしました2年生につきましては、申込み率</p>

が38.8%でした。昨年度が47.4%でしたので、約1割近く減りました。これは、この事業がスタートした27年度に4級以上を取得している生徒がおり、その生徒たちが今回は受検を見送ったことが原因ではないか、2年生が3級を受けるにはハードルが高く、自信がなかったのではないかとということで、しっかり勉強してから3級を受けようと考えて、2年生での受検を見合わせたのではないかと、市内中学校の英語担当の先生方の分析です。

各学校の2年生の受検率は約15%から20%までと学校により様々でしたが、小学校の漢字検定の希望受検の5、6年生が30%ほどの受検率だったことから考えると、英語検定の希望受検である2年生の38.8%という数字は高いのではないかと捉えております。

次に、2段目のほうは、今回の英語検定の全学年を合計した合格状況です。表の左側は日田市の結果で、右側は大分県全体の結果であります。

この表を見ると、全ての級において合格率は県よりも低くなっているという結果でした。これは、英語検定は一般的に英語に自信のある生徒が腕試しということで受検することが多いのですが、日田市は助成するというにより広く受検を勧めていますので、このような結果になったと捉えております。

参考データを一番下につけておりますが、英検は年間3回、6月、10月、1月に実施されます。総数が減った理由としましては生徒数全体が30名ほど減ったこと、特に1年生は昨年度より60名減っております。また、先ほど申し上げました理由から、2年生の受験者数が減ったことなどにより、総数が減ったものであります。

24ページ、25ページは、それぞれ、1年生と2年生の英語学習と英語検定についての生徒アンケートの集約になります。

24ページの1年生アンケートの1番、英語の授業が好きであるという問いで肯定的な回答が70.8%と、4月の県の調査結果、2年生の結果であります。肯定的な回答の52.2%と比べると18.6ポイントと上回っているということになっております。

また、2番目の英語の授業がよくわかるの肯定的な回答も82.3%というように大きく上回っています。昨年度の1年生と比較しても、全ての項目において肯定率が前年度を上回っている結果でした。

また、9番から11番の英語検定についての設問では、肯定的な回答が前年度の1年生よりも多くなっております。ただ、25ページに同じ質問がございますが、2年生に対するものと比べますと、

<p>教 育 長</p> <p>諫 本 教 育 長 職 務 代 理 者</p>	<p>どの項目も低くなっております。</p> <p>12番の感想や来年度に向けての要望では、英語は苦手だったが英検を通して楽しく英語を学べるようになった、英検に受かりたいという気持ちのおかげで、まだ知らなかった英単語や文章をたくさん覚えることができたといった、白い丸であらわしておりますが肯定的な意見がほとんどでありました。黒丸のような感想や要望もございました。</p> <p>25ページは、希望受検の2年生のアンケート集約になります。1番から8番までは、全員対象のアンケート、9番から12番は受検した生徒のみのアンケート結果になっております。</p> <p>1、2番の英語の授業は好き、よくわかるの肯定的な回答ですが、4月よりも好きは12.8%、わかるは20.8%も増えておりました。</p> <p>また、9番から12番の希望受検した生徒の回答は、特に、またチャレンジしたいと回答した生徒が9割近くいたことは、12番の生徒の感想や意見の1つ目ですが、英検で1つずつ級が上がっていくのがうれしい、1年間に1つの級ずつでも上の級に合格したいや、これからの時代、外国語を話す、書くことができるのはとても大切だと思うので頑張りたいと思ったなど、生徒の意識や意欲の高まりを感じさせるうれしい回答が多くございました。</p> <p>以上でございます。</p> <p>英語検定についての報告でございました。特に何か御質問等ございますか。</p> <p>今、アンケートも含めて説明をいただきましたが、「英語の勉強をがんばろうという気持ちになった」から「英検にまたチャレンジしてみたい」という3つの設問のところですが、1年生の肯定率が78とか60%ぐらいのところ、2年生の肯定率が81とか88%というように伸びているということで、1年目よりも2年目、もう一回チャレンジしてみて、やっぱりまた頑張ってみたいという、さらに意欲が上がっているように受け取れました。実施することによってさらに伸びようとしている状況かなと受け取れましたので、予算が当然必要となりますが、その予算を使ったことによってそういう機会を子供たちが与えられて、もっと積極的に英語に触れようとする意欲があふれてきているというのは間違いなさそうなので、できればそういった方向にはもっと力を入れられたらいいなと思いました。</p>
---	--

教 育 長	英語に対する意欲が、英検を受検することによって高まっていくのではないかという御意見でございますが、ほかにございませんか。
佐 藤 委 員	私の娘も受けさせていただいたんですが、受けた結果、リスニングが難しかったということだったんです。なかなか、学校の授業でリスニングを集中的に勉強するというのは難しいので、どうやってリスニングを勉強していったらいいかがわからないということだったので、そこを何か検討していただけるとありがたいと思います。
学校 教育 課 長	<p>御意見ありがとうございます。リスニングについては、昨年度の英検から、ペーパーテストとは別になっています。認定のほうは、ペーパーのほうとリスニングのほうと別々に合格通知が届きます。</p> <p>英語の授業では、「聞く」「話す」「読む」「書く」という4技能を取り入れた授業を行っています。ただ、英語検定に向けてのリスニングの指導というのは、学校の授業の中では、なかなかできない状況にあるかと思います。今いただいた御意見については、中学校の英語の先生方にお伝えをしたいと思います。</p>
教 育 長	この英検は、通常の授業とは若干異なり、またリスニングがあるので、その勉強というのも必要だと思います。学校では事前の指導というのはしているんですか。
学校 教育 課 長	<p>A L Tに朝の放送を録音してもらい、それを全校放送で流して、耳が少しでも英語に親しめるような工夫を学校で行っているという話も聞いたことがございます。</p> <p>授業の中でも、今までは先生が一方向的に教えるような授業が見られましたが、今は子供同士で実際に、例えば旅行に行ったときというような場面を設定して、そこでやりとりをするというような体験的な学習を取り入れています。</p> <p>その場にA L Tがいて、正確な発音を示すなど授業の工夫をしています。英検の対策というのは、やはり授業の中ではなかなかできない部分もありますので、朝の早い時間とか放課後の時間とか、それぞれの学校で英検の前に対策をしています。</p>
教 育 長	<p>今後、またそういった面も、英語部会のほうに伝えて徹底していただきたいと思います。</p> <p>ほかにございますか。よろしいですか。</p> <p>追加で、英語の状況について、今後、小学校の学習指導要領が変</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>わったり、この英検も、国のほうで示しています中学校で英検 3 級という辺の情報を少し説明してください。</p> <p>平成 3 2 年度より小学校の外国語は、現在の外国語活動から 5、6 年生で外国語という教科になり、3、4 年生には外国語活動が加わります。そのため、3 年生以上は授業時間が週 1 時間増えるということになります。</p> <p>文科省が行った英語力調査、昨年 1 2 月 1 日時点での英検 3 級の取得者と取得していなくても、先生たちがそれに該当する英語力があると判断した中学生の割合を調査したものであります。この調査は、文科省が全国の公立の中学校を対象に行ったものであり、新聞等でも報道されたものでございます。</p> <p>その結果は、大分県 3 6 . 1 %、全国も同じく 3 6 . 1 %であるのに対しまして、日田市は 4 4 . 2 %という、非常に高い結果が出ております。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>これが学力調査等に結びついていけばいいと思うんですが、意欲、そして自分が主体的に英語を学習していこうという気持ちにつながっていくというのが、一番大切ということですかね。</p>
<p>諫本教育長 職務代理者</p>	<p>どちらが先かはともかく、学力、点数としての学力は上がったリ下がったりというのはありますが、実用英語というか、意欲がある個人的な英語としては伸びているという状況があるということですよ。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>学習指導要領で、小学校も 5、6 年生で英語が教科として、3 年後の平成 3 2 年度から完全実施されます。まだ英語の先生の指導、研修をどうするかなどの課題もたくさんあり、3 年間かけて検討していかなければいけないということですかね。いずれにしても、英語については、今後ますます力を入れていくという方向のようであります。</p> <p>ほかにございますか。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>それでは、報告事項は以上で終わらせていただきます。</p> <p>その他について、事務局よりお願いします。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>次回、5 月の定例の教育委員会日程でございますが、5 月 2 6 日の金曜日でお願いしたいと思っております。</p>

教 育 長	<p>5月26日の金曜日ですね。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>それでは、よろしく願いいたします。</p> <p>そのほか、ございますか。よろしいですか。</p> <p>それでは、以上をもちまして4月の定例教育委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。</p> <p style="text-align: right;">終了時刻：午後3時38分</p>
-------	---